



すくは 議会だより



佐久穂小・中学校 開校式
平成27年4月8日



佐久穂小学校
入学式

新1年生
心もワクワク!

佐久穂中学校
入学式



3月定例会議会報告	2P~
行財政改革元年 平成27年度一般会計予算可決	
一般質問 10人が町政を質す	4P~
総括質疑・請願、陳情・一部事務組合	9P
委員会活動から	10P
追跡 ~一般質問・その後どうなった!?~	11P
しらかば 頑張る チョーミン!	12P

平成27年4月23日

第40号

発行：佐久穂町議会
議長 小林守正
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂営業所
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

27年度 一般会計当初予算可決

関連増額 総額78億9,000万円



本年2月26日、佐久穂町立佐久穂小・中学校、校舎落成式典が約20名の出席のもと、挙行されました。平成27年4月8日には小・中学校の入学式が行われました。新たな心で出発していただきたいです。

平成27年度一般会計当初予算は、第一次行財政改革大綱に沿い、地方創生に向けた施策の展開を目指した予算となりました。

3月定例議会の推移は、3月5日初日に、町長招集挨拶及び各議案の説明、補足は各担当課長からありました。3月10日、11日にかけて、10名

の議員より町政を資す一般質問がされ、町長及び担当課長等の答弁がありました。

3月12日から17日まで、各常任委員会での審議、総括が行われ、18日に採決がありました。

議案総数は52件です。議案により反対議員の活発な意見の出るなか、全案可決となりました。

さらに町民の皆様のご意見を、お寄せいただきたいと思えます。

27年度 当初予算

平成27年度

当初予算案

れています。

支出の主な内容は、

今回提案された予算案は、3つのキーワード、「合併自立・協働・経営」による予算として編成しました。

(町長招集挨拶)

☆総額では、昨年度当初予算と比較して、6億2,100万円減額の

78億9,000万円となっております。

収入における主な特徴は、統合小中学校建設事業が終了したこともあり、合併特例債などの借金や、国庫補助金などは大幅に減額さ

れています。

○増えているものは、「地方創生」関連の予算と、福祉医療費の支給対象が高校卒業まで拡大されたことによる増加、千曲病院線り出し金などの衛生費、町の借金を返済するための公債費な

る増加、千曲病院線り出し金などの衛生費、町の借金を返済するための公債費など



3月定例議会

26年度 補正予算

補正第8号

1,000万円

地域住民生活等緊急支援交付金が、国の補正予算により新たに交付されます。総額は、6,190万円余りです、これによる主な事業内容は、

○プレミアム商品券 2,000万円

○妊娠・出産・子育て支援 1,100万円

○児童館改修・運営 1,800万円

○町総合戦略策定費用

などとなっております。

なお、26年度中に執行できなものは、27年度へ繰り越されることとなります。そのほかは、事業の終了による精算、交付金・補助金の確定による差金などです。

補正予算の総額は、73万6,000円増の

☆90億1,765万円余りとなっております。

業では、このほか、新規・拡充事業では、

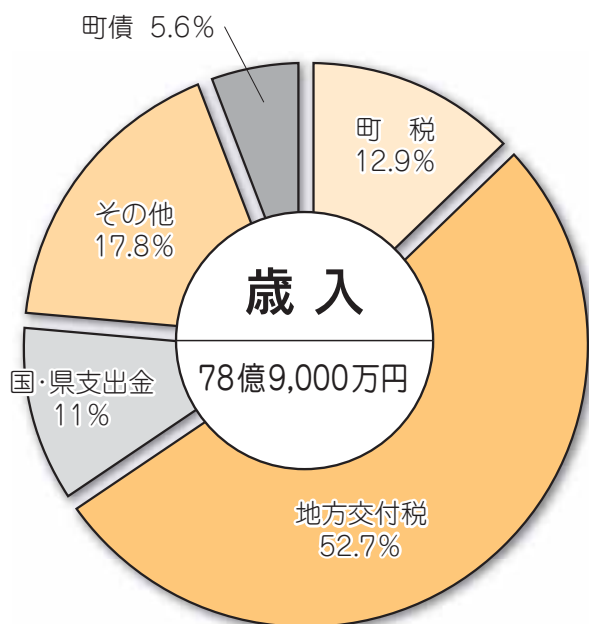
①合併10周年記念事業

②地域おこし協力隊設置事業

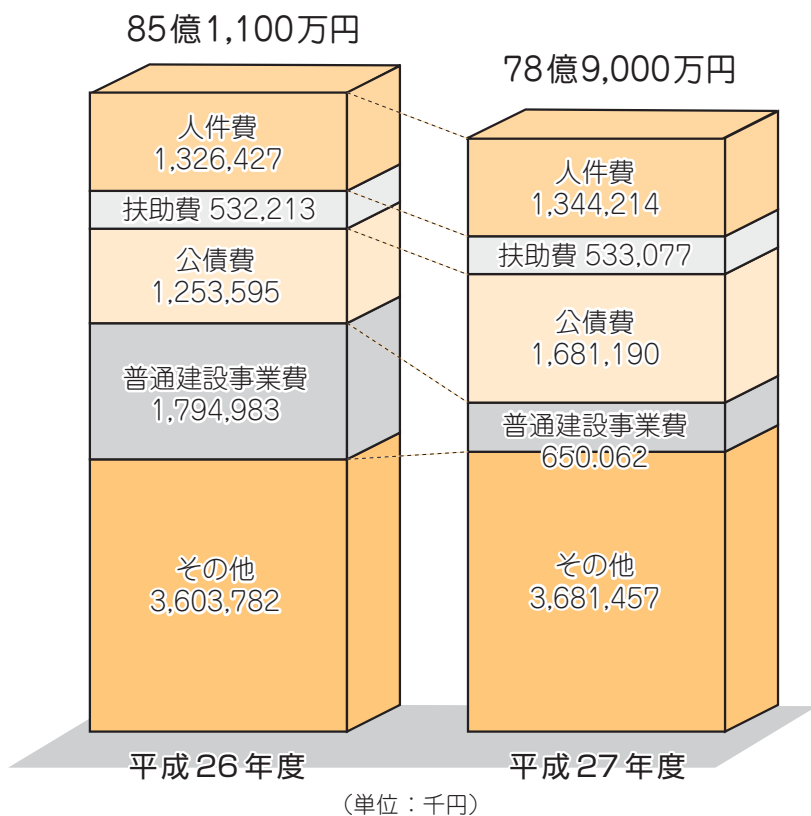
行財政改革元年 平成

普通建設事業大幅減額◎子ども・子育て

27年度歳入の構成比



性質別歳出予算の比較



歳入の特徴

- ☆国・県支出金と町債（町の借金）の合計は前年度と比較して、約10億円減額です。
- ☆借金（起債残高）の総額は、（27年度末見込み）一般会計77億7,404万円となります。

歳出の特徴

前年度との比較

- ◎普通建設事業費
11億4400万円減額
- ◎借金の返済（公債費）
4億200万円増額
- ◎新規事業・合併10周年事業・子ども子育て支援の拡充・地域おこし協力隊・町有林の更新伐 等がもりこまれています。



町道妻ノ神線の現状は

町長 3ヶ所隊道が交差している為
作業工法等検討する

岩崎 正孝



行財政改革と 活性化対策

問 経費削減と同時に、町の活性化対策を推進すべきではないか。

町長 当初、第二次自立計画策定も考えたが、地方交付税の段階的消失対策が喫緊課題の為、事務作業の見直し（経費削減）を最優先とし、一年半かけ大綱を作成した。大綱は議論のキッカケであり、これから自主自立に必要な活性化策を、皆さんと作り上げて行きたい。

問 移住促進策や、空家バンクの制定活用への考えは？

町長 申し出の有った物件のみ、町のホームページに公開して居るが、27年度は導入する「地域おこし協力隊」の隊員に、移住交流事業の一環として空家情報の収集も行い、定住への取り組みを展開して行きたい。

問 遊休農耕地の実態把握と、その活用策は？

町長 本年度の耕作放棄地全体調査で35ha、畑56haだが、再生不能地を含めるともっと多い。その利用に、そば組合との協力でひすいそば栽培や、アンテナ佐久穂の取り組みで花豆栽培に取り組んで

いる。

問 森林資源の把握と、その活用策は？

町長 町有林は約五千haで、森林整備計画により更新伐計画で進めている。

問 町道妻ノ神線の現状は。

町長 3ヶ所隊道が交差している為、作業工法等検討する。



町道妻ノ神線（崎田地区）

自転車で町おこしを!

町長 商工会、観光協会などと話をしたい

岡部 勝一



問 第29回ツール・ド・八ヶ岳の時期を向かえました。自転車による、町おこしは考えられないか？

町長 オフロードレースや周回コースなども考えられるが、町県国道などの利用には、使用許可が必要。商工会、観光協会などと話をしたい。

問 自転車サポートステーションとして、雨宿り場所トイレ、修理工具の貸し出しも考えたい。

産業振興課長 来町者も多くなるので、施設整備していきたくと思う。

問 大介護時代を迎え、介護員、看護員の増員をどの様にするか。また歯科治療の必要性も考えるか？

町長 当町だけでは難しいので、南佐久郡内6町村で専門職人材バンク構想案を本年1月から作成中です。老人福祉、第6期介護保険の両計画策定にあたり、当町初の歯科

医師を審議委員として委嘱しました。

問 認知症対策は、どのようにするのか。

健康福祉課長 包括支援センターで、25項目のチェックシートを使用中です。

問 個人番号法（マイナンバー法）が来年1月から導入されるが、情報の安全性と活用法はどうされるか。

住民税務課長 本人確認の厳格化、券面改ざん防止のデザイン変更などです。活用法は大きく4つあります。代表として、インターネット利用の申請、身分証明などです。



多段式自転車



新年度から国保制度 変更による影響は

町長 医療費実績によります

井出 清 嗣

問 保険財政共同安定化事業の拡大による、町会計への影響試算結果は。

住民税務課長 県への拠出金に所得割が導入されるので、25年度分で試算したところ約700万円ほど拠出超過分が減る計算でした。前年度1月から当年度12月までの医療費実績が出ないと、正確には言えません。

問 被保険者の所得の低い市町村は拠出も少なくなる改正なので、保険税の算定にあたり考慮していただきたい。

これ以上税負担を重くしないための施策は。

町長 医療費抑制のために適性受診や健康意識の向上が必要です。またジエネリック医薬品の利用や健診、生活習慣病予防の指導も引き続き行います。

新年度から保健師による訪問指導を千人規模を対象に行うことも予定しています。

問 介護保険料も、一般会計からの繰入れによって押さえていく考えは。

町長 介護予防のために2,400万円ほど繰り入れをして、保険料等を抑制していく考えですので、保険給付費への繰り入れはしません。

問 国からの地域消費・生活支援型交付金を福祉商品券などに使っては。

町長 検討の結果、プレミアム商品券発行と子育て世帯への商品券配布をさせていただきます。低所得者向けには額は下がりますが、臨時福祉給付金が今年度もございます。



超音波診断装置 (エコー)

有害危険物質を含んだ 食品への学習と啓蒙は

町長

必要と考えます 食育の中で指導を行っています

高見澤 春野



地域活動支援 センターの現況

問 宮前区に移設したが、使い勝手が良くないとの声があるが、どう考えるか。

町長 既存の建物を改修しているので、工夫をして使っていたらどうかをお願いしています。

問 保健師のかかわり方が見えていないが。

町長 実施主体は町なので、役場関係職員とセンター職員とで、役割の確認をして

行きます。

安定した 学校運営を

問 統合小・中学校の教職員数は適正と考えるか。

教育長 ささまざまな教育課題に柔軟に対応できるように適切な加配により支援していく考えです。

問 保健室の養護教諭の配置と、体制はどうなるのか。

教育長 小・中それぞれ1名ずつの配置です。1名加配を引き続き要望していきます。西側が小学生、東側が中学生用で使用します。

問 給食室の体制と、賄材料の納入業者の選定は。

教育長 栄養職員1人、調理員は正職、臨時合わせて12人です。
業者選定は各学校で取引のある町内業者等22業者を選定し、21業者を決定しました。

問 有害危険物質を含んだ食品への学習と啓蒙は。

町長 必要と考えます。食育の中で指導を行っています。



安全・安心な給食を子どもたちに

スキー場経営のあり方を明確に

町長

委員会を設置し検討を行います 方向性を見出します

井出 正臣



索道会計 (スキー場経営)

問 社会的マイナス要因の少ない今年度の収支状況と経営に対する今後の対策は。

町長 平常時といえる平成23年度の収支に近い状況にあります。今後の対策に関しては、観光施設運営検討委員会を設置し、総合的な観点から検討します。

産業振興課長 今年度の一般会計からの繰入額は3,500万円程度を予定しております。スキー場経費の

景観・環境に 関する法整備

問 大規模太陽光発電計画が話題となっているが、独自の法整備が必要では。

町長 佐久穂町環境保全条例が定められております。この条例や規則等で対応できないものがあれば、新条例の制定や条例改正を検討していきます。

公共施設の あり方検討状況

問 学校跡地検討委員会の提言書提出から2年、庁内での検討状況と進捗状況は。

今年度の一般会計からの繰入額は3,500万円程度を予定しております。

町長 遅れてしまっていることにお詫びをいたします。提言書にある利活用の具体例を基本に、課を超えた横断的な政策研究チームで検討し、夏頃までには提案させる予定です。

新「しごと課」の 統治体制

問 新しごと課は、教育委員会管轄の部署となるが、これを統治するのは教育委員長か、それとも町長か。

町長 教育委員会管轄であっても法規定による町長部局からの「補助執行」となり、業務・統治に関しては、今までと変わりません。



「総合政策課」の設置の目的は

国の地方創生を受け「まち・ひと・しごと創生本部」とし取り組みます

町長

高橋 康徳



問 町の考える地方創生の意味、また総合戦略はどういった方針で策定していくのか。町の独自性はどのように表現していくのか。

町長 「水と緑のうるおい人の営みがかなでるみらいのふるさと」を目指し、緑豊かな美しいまちづくり、ものづくりで未来を開く産業のまちづくり、笑顔があふれ元気で誇りが持てるまちづくり、住民が主役で住民によるまちづくり。

という基本理念を掲げながら、町における安定した雇用の創出や、町への新しい人の流れを作る移住交流の推進、若い世代の、結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業の展開。

町内の地域間連携を推進し、集落活動の活性化を図る事業などを計画に盛り込みながら、総合計画を策定していきたい。

入札指名制度

問 県の新客観点数を、町が準用することは妥当であ

るか。

副町長 長野県の場合、細かく項目を設定してあるが内容が妥当であるかは検証していない。相対的に見て品質の確保、業者の技術の向上等内容については、町が準用することは妥当と考える。

問 町で工事成績を付けての加点、優良工事表彰等は考えられないか。

副町長 評価要綱、表彰規定等が存在しないため、難しい、どちらも研究させて頂きたい。



地域の力となる建設会社



スキー場の経営改善策は

町長 公営企業会計に移行します

高見澤 研 二

問 「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定される「佐久穂町版総合戦略」の中身はどのようになるのか。

町長 人口減少を食い止める、子育て支援や雇用の創出、地域経済の活性化などを勘案し、27年度中に策定することになります。細かな中身はまだこれからです。

問 新年度に旧中央小で開設が予定されている児童館と、学童クラブ。きちんと住み分けが必要だと考えますが、具体的な中身はどのようになるのか。

町長 児童館という一つの施設の中で、学童クラブの専用スペースを設けての運営となります。性格の異なる二つの事業ですが、それぞれ交流は図りつつも、住み分けはできると思います。

問 民間事業者が計画している、海瀬メガソーラー計画に対して、環境アセスと防災対策はどうなるのか。

町長 計画事業者から提出される環境影響評価書(アセスメント)を検証するための委託料を新年度予算に計上しました。防災対策は、事業者と協議しながら、適切な対策を要望していきます。

27年度から新たに、町営簡易水道特別会計に、宿岩簡水の使用料収入と、北部水道組合への業務委託料支出が計上されたが、使用料の算出根拠と、委託料の内訳はどのようになっているか。

町長 北部水道組合が算出した、27年度の水道使用料の見込み額を計上しました。委託料は、納入された使用料をそのまま委託料として支出するものです。

問 スキー場の経営改善の為に公営企業として独立させてはどうか。また、特別会計の赤字分を、一般会計からの繰り入れから、借り入れに変更した理由は何か。

町長 今後は、公営企業会計へと移行していかなければと考えます。また、27年度から借り入れとした理由は、他の会計との整合性を図ったものです。

収入増加策の検討は

町長 森林整備とふるさと納税を活用し増収を図ります

倉澤 陽 一



自主財源の確保は

問 佐久水道企業団への供給以外に、収入増の施策を考えているか。

町長 水を使った産業誘致、地元の起業等、今後検討しなければならぬ。

問 一トン一円の単価の引き上げは可能か。

総務課長 佐久水道利用者の理解が得られれば、要求していいのではないかと。

問 森林での収入増は。

産業振興課長 町有林40haの更新伐に取り組みます。今年度は13haを設定し、雇用の創出と共に、材の販売で実質750万円以上の収入が見込まれます。

ふるさと納税 現状と今後の方針は。

住民税務課長 24年10件で187万円、25年28件で201万円いただいた。今までは返礼品は出してない。27年度からは金額に応じて佐久穂特産品や、恵みのギフトを考えている。町の魅力を知ってもらい、応援者が増えることが期待できると。



大日向メガソーラー

問 海瀬に続き、大日向にも計画があるが、町はどの様に考えるか

住民税務課長 80%の譲渡証明を取得と伺った。自然エネルギーによる自家利用の太陽光発電と業者が設置の場合では、環境負荷の面で同一ではないと考える。町は地域住民の人命の尊重と、安全の確保を最優先に考えている。

倉澤 大半の地権者は山を手放したいと考えている。里山体験等、若者が進める取り組みと共存できる様望みます。

注釈 更新伐とは、カラマツ林を伐採し、又カラマツを植林して森林を育て、後世に残す方法。

一般質問

行革5年で5億の

削減は可能か

町長 新たな財源の確保も必要

倉澤 治 貴



行財政改革大綱の実施

問 今後住民とは、どうか
かわり周知していくのか。

町長 合併自立路線の実践
は、これからが本番。影響
を受けるもの、及び全ての
町民への説明と周知を行っ
ていく。

総務課長 現在では計画よ
り700万円程、人件費を
削減されている。

問 今回5億円の削減が必
要ということで、大綱が公
布され実施されますが、平
成27年度の行政による削減
額は、どの程度見込んでい
るか。

総務課長 約2,170万
円程です。

問 平成32年度までに、5
億円の削減は達成できるか。

総務課長 難しいかと、今
後、収入を得る方法も考え
る必要がある。

問 公的運営事業の見直し
及び、各種団体への補助金
のあり方等については、まず
は検討すべきでは。

町長 索道事業を含めた、
観光事業については、専門

の検討委員会を平成26年度
中に立上げ検討していく。

地域振興戦略

問 町の地域振興策として
若者及び新規入町者の定住
促進を図るべきでは、また
その施策は。

町長 地域おこし協力隊員
の活動を柱に、体験型の移
住交流事業の推進を図り、
また若者の雇用の確保等、
定住促進に向けて取り組む。

問 新規入町者や、若者の
就労支援などの相談窓口を
設けては。

町長 若者が増えて町が活
性化するよう、町民の方々の
協力をお願いしたい。

目指す児童館の 姿と運営は

子どもたちの健全育成を図る 中核施設として機能させる

町長

小宮山 雅 則



児童館運営

問 児童館が子どもたちの
単なる居場所では意味がな
い、どのような児童館にし
ていくのか。

町長 児童館は子どもたち
の健康を推進し、情操を豊
かにし、時代を担い、郷土
を愛する人づくりの一翼を
担う施設として位置づけ、
その効果を期待したい。

児童館の運営に当たって
は、館長以下職員に児童館
の役割とその効果について
協議いただき、統合小中学
校、茂来館、児童館をしつ
かり連携させ、町の子ども
たちの健全育成を図る中核
施設とし、機能させること
を目指します。

佐久中央小学校の 跡地施設利用

問 佐久中央小学校の跡地
施設利用として、児童館、
学童クラブが先陣となるが、
以後の利用についてはどん
な構想か。

町長 佐久中央小学校の跡
地施設利用につきましては、
教育関連の活用と位置づけ
ています。

今後、児童館運営の中で
就学前の子どもの利用、母
子保健活動や子育て支援活
動等における利用、また
不登校児童等の利用場所、
学生や高校生の利用も検討
しています。これからの活
動は、児童館として行う内
容とNPO等に委ねること
も可と考えます。また、ひ
とつの方法として、
NPO等に教育関連
の自主的活動に貸し
出す方法も考えてい
ます。



学校南側の水路

(他に、統合小中学
校グラウンド南側の、
町道中田稻荷前線に
沿う水路の危険につ
いて質問しました。)

総

括

質

疑

個人番号制度について

井出 清嗣

問 個人番号制度を、27年度に繰り越す理由は。

総務課長 国のデータの作成が遅れたのが原因です。

問 住民基本台帳との関連はどのようになるのか。

住民税務課長 住民基本台帳と個人番号はだぶつてはいけないので、住民台帳のカードは順次発行がなくなります。

問 個人番号の活用内容は。

住民税務課長

- 本人確認ができる情報の管理と利用
- 公正な給付と負担の確保
- 手続きの簡素化による利便性の向上を上げていきます。

利用範囲は①年金、労働保険医療等の社会保障分野。②税金に関する提出書に使うもの。③被災者生活再建支援金など、災害分野に使うものです。

請願・陳情

請願

子ども・障がい者の医療費窓口無料化を求める請願

請願者 佐久・生活と健康を守る会
代表 増田 文昭
紹介議員 高見澤 研二

採択（賛成多数）

陳情

アレルギー代替給食への対応に関する陳情書

陳情者 代表 中山 優子

採択（全員賛成）

佐久中央小学校跡地を子育て支援拠点として活用することを求める陳情書

陳情者 佐久ほっこりタウンを創るママの会
代表 田邊 佳代子

採択（全員賛成）

旧佐久東小学校施設等の使用を求める陳情書

陳情者 山村テラス
代表 岩下 大悟

採択（賛成多数）

一部事務組合
議会報告

佐久水道
企業団

平成27年 第1回定例会

平成27年2月5日開催
議案第1号、2号、3号
について、報告あり。

佐久平環境
衛生組合

平成27年 第1回定例会

平成27年2月20日開催
議案第1号、2号、3号
について、報告あり。

南佐久環境
衛生組合

平成27年 第1回定例会

平成27年2月27日開催
報告第1号、承認第1号、2号、議案第1号、2号、3号、4号、5号、6号
の各報告あり

閉会中の議員活動

1月～3月
（主なもの）



1月

- 議会全員協議会
- 南佐久郡議長会定例会
- 佐久水道企業団議会運営委員会
- 県町村議会広報研修会

2月

- 議会全員協議会
- 佐久水道企業団議会定例会
- 人権フェスティバルin佐久穂
- 佐久平環境衛生組合議会運営委員会
- 佐久平環境衛生組合議会定例会
- 南佐久環境衛生組合議会運営委員会
- 県町村議長会定期総会
- 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 議会全員協議会
- 統合小中学校新校舎落成式
- 佐久広域連合議会全員協議会

3月

- 南佐久環境衛生組合議会定例会
- 千曲病院経営審議会

委員会活動から

総務文教常任委員会

平成26年度 一般会計 補正予算

地方創生の推進に向けて
国と地方における人口ピシ
ヨン・総合戦略策定に地域
住民生活等緊急支援交付金
6,191万円があります。

内訳

一、地方消費喚起・生活支
援型

2,889万円
歳出・商工一般経費

3,180万円
プレミアム商品券
商品券発行補助

2,000万円
18歳までの子供へ
5,000円を配布

二、地方創生先行型

3,320万円
歳出・子どもセンター事
業

1,793万円

観光資源のライトアップ
事業

7万円

総合戦略策定経費

934万円

アンテナさくほ事業

1,209万円

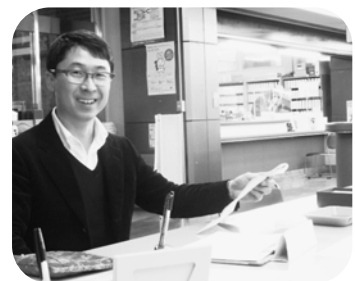
新町建設計画 ・5年間延長

佐久穂町が誕生した時、
新町建設計画が樹立された。
この計画に基づいて行う公
共的施設の整備事業に要す
る経費は、合併特例債が利
用できた。

この度、法律改正により
合併特例債の利用期間が5
年延長されました。
そこで新町建設計画も5年
延長されます。
従って平成31年まで合併
特例債の活用が出来ます。

白内障手術が 可能に!! 手術機器購入

◆千曲病院眼科では
手術用機器を購入
し、白内障の手術が
可能です。手術は15
分程度で出来るよう
です。手術件数は1
00件、2,000
万円の収入を見込ん
でいます。
半年以上待たなけ
ればいけなかった現



地域おこし協力隊・金子幸司さん

状が、少しでも解消されそ
うです。
全員賛成しました。

高校卒業まで 医療費無料

佐久穂町では、これまで
中学卒業まで医療費無料で
したが、27年度から高校卒
業までに拡大されました。
子育て家庭には朗報です。
委員会では、全員賛成し
ました。



角膜内皮細服撮影装置 (スペキュラーマイクロスコプ)

新しい健康推 進委員の誕生

行政のスリムを図る為、
健康づくり員と健康推進員
を統一した。

高野町用水の改 修計画について

平成26年度で概略の調査
が終了し、今後県が行う北
沢川の改修計画をみながら
行う予定。

更新伐事業 始まる

八千穂高原の町有林、更
新伐事業は、一期6年で三
期18年にわたり、40haが対
象。更新伐事業とは、カラ
マツ人工林を伐採し、植林
まで行うことで、新たな収
入源の確保と、雇用確保の
効果が期待される。

経済福祉常任委員会

追

跡

一般質問

その後どうなった!?

行財政改革

住民への説明は?

町は、この大綱の実施により、変化や低下が懸念される住民サービスに対する詳しい説明や理解を求めるため、要望に応じて各区や各団体へ丁寧な説明を行っていく予定です。また、5月広報より、これをシリーズ化して連載し、住民の皆さんへより細かく、分かりやすく伝えたいと思います。

行政改革とは?

本来「佐久穂町」の規模で交付される額である地方交付税が、合併特例で「佐久町十八千穂村」という規模で交付されることにより、約5億円多く支給されてきました。合併10年を迎え、この特例がなくなり、一年に1億円つつ削減され、五年後には「佐久穂町」の規模とされる、現状よりも5億円少ない額の地方交付税となることが決まっています。この減少する5億円へ向けて、費用や組織の見直しを行う行政改革の必要性があり、これを実施するための計画が行財政改革大綱です。

平成27年度の

実施効果は?

全体影響額で5,300万円となっております。これは平成26年度と27年度の当初予算による比較なので、正確な実績ではなく目安となります。実績に基づく削減効果は、7月下旬の事務事業シート作成以降に明らかになります。

そもそも

「役場の仕事」って何?

実は、ここが住民の皆さんにうまく伝わっておらず、知られていません。今回は、行政改革大綱の説明をしながら、事務事業シート等により「役場の仕事」を公開・説明していきます。

どのように進めるか?

総合計画を基本に行われる、いわゆる「役場の仕事」を事業内容ごとに分け、金額ベースでの検討、削減の実施を行い、これの積み重ねにより、五年間で5億円の削減を目標とします。

まとめ

行財政改革は、行政に求めてきた「あったらいいな」を減らし、「なくてはならない」ものを、役場と住民が協働し、絞り込む作業だといえるでしょう。

実現に向けての方法は?

大綱は「議論のきっかけ」と考えています。役場の中からの視点でなく、住民の皆さんからの視点による行革提言を常時いただけるようにしていきます。



主な削減事業

(千円)

塵芥処理事業	7,840
福祉医療費支給事業	2,590
町民ドック事業	6,565
太陽光発電システム設置補助金事業	10,000



次回定例会は、6月4日(木)からを予定しております。
一般質問 6月9日(火)・10日(水)
 皆様の傍聴をお待ちしております。

「洋服を売る」より「自分を売る」
インターネットに負けない洋品店
【藤本屋】 油井政徳 さん



今回は、東町商店街で頑張る婦人服販売店「藤本屋」を営む、油井政徳さんにお話を伺いました。

◆◆◆◆◆
昔ながらの趣のあるショーウィンドウの向こう側に入るのは、私も初めてです。
◆◆◆◆◆
町内のお客様がメインですか？

町内はもちろん、町外のお客様も多いです。町外は佐久平から野辺山まで。知人から聞いて来たという方もいらっしやいます。昨年創業50周年を迎え、新聞広告に載せてもらいましたが、「藤本屋さんは面白いことやってるに」と言ってくるので、頂いた方もいます。

「面白くない」といって、自分で広告を作り、近隣の所は自分で配達。誕生日カードも送ったりしています。オリジナルのメンバーズカードもあり、お客様にご活用いただいています。学生の頃から音楽をやっていたので、電子ピアノを店内で弾いたりしています。
◆◆◆◆◆
ターゲットはやはりマダム層ですか？
50・60代の方が多いです。今は、若向きの商品もオバサマが買っていく時代。人は十人十色、その人に似合う服を、どの時どのような着るかが問題で、センスや好みを読んで取り揃えていくのは難しいですが、やり甲斐があります。
◆◆◆◆◆
「外売」を行うと聞きましたが？
お客様の元へ出向き、ご要望を聞き、店にない時には、仕入れから配達まで行っています。もし近所中に欲しい服が店になかった場合、最短で2日、長くても10日以内にはお届けしています。インターネットには負けたくないですね。



インターネットに負けないためには？

やはり服は、見て・触って・試してご自分に似合っているかどうかを見極めることだと思つたのです。私は洋服を売るといふよりも自分を売る。「コミュニケーションを大事にして、お客様に信用してもらえらる「藤本屋」でありたいと思います。
◆◆◆◆◆

求められる努力を惜しまない油井さん。ライバルをインターネットに置いていく心意気に頭が下がります。「地方創生」とは何か？と考える時に、ヒントや答えは、こういったところにあるのかもしれない。(聞き手 井出正臣)

広報編集調査特別委員会

2年間の編集を終えて

平成25年4月より、新体制で出発した、当委員会も2年が過ぎます。回を重ねる毎に、紙面の刷新をはかってきました。まだまだ、いたらない点も多くありますが、成長したのは、各編集委員だと実感しています。本年1月30日には、長野市で、広報研究会に参加し、議会だよりのクリニックを受け、数々の指摘がありました。議会と町民一人ひとりの橋渡しになれたか不安ではありましたが、この2年間、大変お世話になりました。



- 委員長 岡部 勝一
- 副委員長 井出 正臣
- 委員 岩崎 正孝
- 倉澤 陽一
- 倉澤 治貴
- 高見澤 研二



委員長以外の委員の皆様は、新人ではありませんでしたが、回を追う毎に、原稿の出来がスムーズに、はかどりました。次回からは、さらに進化した広報誌づくりに、尽力いただきたいと思います。ありがとうございました。

年4回の定例会後、2日間で、議会だより編集を行いました。事務局には大変な苦勞をかけたのではないかと思います。